

## レースのハンディキャップの付け方

ヨットレースのレーティング（ハンディキャップ）の方法について

1. 様々な艇種が一緒に出場する混合レースでは、速い艇・遅い艇の有利不利がないように、ハンディキャップを付けます。これを、「レーティング rating」（等級、格付けの意味）と呼びます。

2. レーティングには、艇種毎に定められた「ヤードスティックナンバー yardstick number」（YN と略称）を用います。速い艇は YN が小さく、遅い艇は YN が大きい。例えば、

シーラークの YN = 94

シカーラの YN = 102

3. レース終了後に、次の計算をして、修正時間を算出します。レースの順位は、この修正時間によって決定されます。

$$\text{修正時間} = (\text{所要時間} / \text{YN}) \times 100$$

ここで、「所要時間」とは、個々の艇のスタートからゴールまでの実際の経過時間。

例えば、

シーラークの所要時間が、43分18秒=2598秒

シカーラの所要時間が、46分58秒=2818秒（シーラークに3分40秒遅れてゴール）

$$\text{シーラークの修正時間} = (2598 / 94) \times 100 = 2763.8 \text{ 秒}$$

$$\text{シカーラの修正時間} = (2818 / 102) \times 100 = 2762.7 \text{ 秒}$$

したがって、この例の場合、1秒の差で、シカーラの勝ちです。

(注1)

$102/94=1.0851$  ですから、43分18秒 (=2598秒)  $\times 1.0851=2819$  秒  $> 2818$  秒。

この定数 1.0851 を使えば、シカーラがシーラークにどれだけ遅れを取っても勝てるかが計算できます。

(注2) ヤードスティックとは、「長さ1ヤードの棒切れ」のことで、この棒きれと比較してどれだけ長いか短いかを判定するというイメージで、日本語のまさに「尺度」、「物差し」と同じですね。公共料金の評価方法として使われることがあります。

(注3) その他の日本の YN の最新版 (JSAF: 2008年) の数値は、次を見て下さい。

<http://www.jsaf.or.jp/race/2008/document/yard-no.pdf>